

第三者意見

報告書の名称を「環境・社会報告書」に変更して2年目を迎える今回の報告書は、各企業に供給する中間化学材料の素材メーカーとして、その役割を環境面・社会面からできるだけ分かりやすく表現する工夫が随所に見られ、好感の持てる報告書となっている。

また2008年度からは「第2次中期5カ年経営計画」を策定し、それに基づき2012年度環境目標やステークホルダーへの貢献目標などの中期目標を設定した。産業廃棄物についてはゼロエミッションを目指し、地球環境に貢献する製品開発への積極的な取り組みなどを示している。本報告書は、読み手への理解を得るさまざまな工夫が行われ、分かりやすく、充実した内容の報告書となっている。

荒川化学の製品の主な原料は、松の木から採取し精製した「ロジン」と呼ばれる天然樹脂を使用している。ロジンは植物由来の原料であるため、化学原料と違い環境負荷が少なく、バイオ原料として優れた環境特性を有している。また松の木からのロジン採取にあたっては、樹木を伐採する必要がないため、松樹林としてCO₂を吸収し、CO₂削減にも貢献することができる。

このような荒川化学の製品は、天然素材「ロジン」という環境特性を生かし、製紙、印刷インキ、塗料、接着剤、はんだ材料、医薬品など幅広い分野に導入され、最終製品のグリーン品化に広く貢献している。創業から130年にもおよぶこのような企業活動は、環境への負荷が少ない事業活動として大変評価できることである。

今回の「環境・社会報告書」は、最初に特集として、地球温暖化防止に貢献する企業としてのCO₂排出量の削減を、フローシートにより分かりやすくまとめている。

また環境負荷の全体像はインプット・アウトプットで図解され、環境保全活動の目標と実績についても一覧表で示され、その詳細内容や実績データが項目ごとに分かりやすく示されている。地球温暖化問題に大きな関わりのあるCO₂排出量削減については、2004年度比で6.6%削減し、削減目標である3.4%を大きくクリアし、1990年比では11.2%も削減している。エネルギーを多く使用せざるを得ない化学品メーカーとして、省エネ・省CO₂への取り組み努力は評価できることであり、地球温暖化の厳しい状況を見ると今後も引き続き努力をしていただきたい。

今回各工場のサイト別活動報告のデータをまとめ、4カ年のデータトレンドを示したことは良い試みである。今後企業として必要なことは、種々の環境データをできるだけ分かりやすく「見える化」することであり、今後もこのような「見える化」の努力をして

いただきたいと思います。

一方社会性報告については、コンプライアンス体制の充実とともにお客様、株主・投資家、従業員、地域・社会の各ステークホルダーとのかかわりについて、種々の情報を分かりやすくまとめています。特に今回は「ボイス」として関係する社員の意見を随所に導入し、会社の状況を分かりやすくしたアクティブな報告書にまとめられている。

次に本レポートに示された行動内容について、改善すべき点などについて意見を述べる。

■今、世間が最も注目している環境問題は、地球温暖化への対応である。昨年、厳しい内容のIPCC第4次報告書が提出され、昨年のG8サミットおよび今年のG8洞爺湖サミットで、世界はCO₂排出量50%以上削減に向けて大きく動きはじめた。

このような状況から、今後企業に求められるのは、低炭素社会へどのように貢献していくのかである。より徹底した省エネ化と省資源化の推進をお願いしたい。

■企業を取り巻くステークホルダーのうち、今後ますます重視されるのは消費者、国民から見た企業評価だと思う。難しい中間化学材料素材メーカーの内容や環境・社会行動を、できるだけ分かりやすく「見える化」して社会に情報発信することが重要だ。

■コンプライアンス活動、安全衛生活動、社会貢献活動などは充実した行動が行われているが、全社的にCSR活動を統一して推進する体制や方針、目標の構築が望まれる。企業が社会に対して果たすべき責任は今後ますます重要となり、CSR活動のより一層の充実が望まれます。

今回の「環境・社会報告書2008」は、貴社の環境・社会行動内容を分かりやすく、的確に表現した報告書となっている。今後は企業特性を生かした低炭素社会への貢献とCSR活動の充実した展開を期待する。



環境カウンセラー（事業者・市民部門）
NPO法人自然環境復元協会 理事
藤野環境計画 代表
藤野 耕一

●第三者意見を受けて

2008年度の「環境・社会報告書」は、お客様のみならず、株主、取引先などステークホルダーの方々に環境情報および社会性情報を正確に開示し、情報の信頼性を確保するために、第三者意見を掲載させていただきました。

お忙しい中、環境カウンセラー NPO法人自然環境復元協会 理事 藤野環境計画 代表の藤野耕一様よりご快諾いただき、より多くの改善すべき貴重なご意見を頂戴いたしました。深く感謝申し上げます。

特集では、地球温暖化防止に貢献する企業としてCO₂排出量の削減への主な取り組みを紹介しました。藤野様のご指摘のように、

「低炭素社会構築」への動きが急速に進んでおり、今後も地球温暖化防止に、より一層取り組んでいきます。

またそれ以外にCSR活動の充実化、環境・社会行動などをできるだけ分かりやすく「見える化」して社会に情報発信することなど、ご指摘いただきました改善すべき事項をひとつひとつ確実に是正して、環境保全活動および社会活動を少しでも高くご評価いただける様、取り組みを充実させていきます。今後ともご理解、ご支援の程お願い申し上げます。

荒川化学工業株式会社 品質環境保安室長 山下 鉄男